



筑波大学

体育専門学群

2027

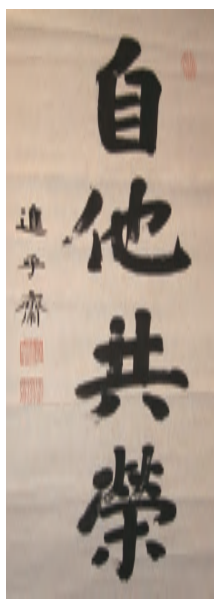
School of Physical Education,
Health & Sport Sciences
University of Tsukuba

<https://spehss.taiiku.tsukuba.ac.jp>



©卓球レポート/バタフライ





1878(明治11)年10月	体操伝習所開設
1885(明治18)年12月	東京師範学校に附属体操伝習所
1886(明治19)年04月	東京師範学校は高等師範学校と改称 附属体操伝習所を廃し、体操専修科設置
1902(明治35)年03月	高等師範学校を東京高等師範学校と改称
1915(大正04)年04月	東京高等師範学校に体育科設置
1924(大正13)年10月	渋谷区代々木(幡ヶ谷)に体育研究所創立
1941(昭和16)年03月	東京高等体育学校設置(幡ヶ谷)
1944(昭和19)年04月	東京高等体育学校を東京体育専門学校と改称
1949(昭和24)年05月	東京教育大学開学(大塚) 体育学部設置(幡ヶ谷)
1960(昭和35)年04月	体育学部附属スポーツ研究所設置
1964(昭和39)年03月	東京教育大学大学院体育学研究科(修士課程)設置
1967(昭和42)年04月	武道学科開設
1973(昭和48)年10月	筑波大学開学、体育専門学群設置
1976(昭和51)年04月	筑波大学体育研究科(修士課程)設置 体育科学研究科(博士課程)設置
1977(昭和52)年03月	東京教育大学閉学
1989(平成元)年04月	筑波大学大学院修士課程体育研究科(コーチ学専攻、健康教育 学専攻)昼夜開講制実施
1990(平成02)年04月	筑波大学大学院修士課程体育研究科(体育方法学専攻)昼夜開 講制実施
1997(平成09)年04月	筑波大学大学院修士課程スポーツ健康科学専攻開設
2001(平成13)年04月	筑波大学大学院人間総合科学研究科設置
2003(平成15)年04月	筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネ ジメント専攻(修士課程)開設
2004(平成16)年04月	国立大学法人に移行
2006(平成18)年04月	筑波大学大学院人間総合科学研究科コーチング学専攻(3年制博 士課程)開設
2016(平成28)年04月	筑波大学大学院人間総合科学研究科 大学体育スポーツ高度化共同専攻(3年制博士課程)開設(鹿屋体 育大学との共同専攻) スポーツ国際開発学共同専攻(修士課程)開設(鹿屋体育大学と の共同専攻) スポーツウェルネス学位プログラム(3年制博士課程)開設
2020(令和2)年04月	筑波大学大学院人間総合科学学術院人間総合科学研究群設置

2027

School of Physical Education, Health & Sport Sciences University of Tsukuba

学群長挨拶



筑波大学体育専門学群は、1878(明治11)年に設置された官立の体操伝習所に始まり、約150年以上の歴史を有しています。体操伝習所は高等師範学校(後に東京高等師範学校と校名変更)に引き継がれると、現在筑波大学のシンボリック的存在となっている嘉納治五郎校長の下で体育科が設置されました。そして、東京高等師範学校体育科(1915年～)は、東京教育大学体育学部(1949年～)、筑波大学体育専門学群(1973年～)へと受け継がれ、今日に至っています。

この間、一貫して掲げられてきた目標は、体育・スポーツ、健康、コーチングなど体育・スポーツ関連分野におけるリーダーの養成であり、実際に、体操伝習所から筑波大学体育専門学群へと連綿と続く歴史の中で、幾多の優れた指導者(教員、監督、コーチ)や、指導的立場で活躍するトレーナー、アナリスト、マネージャー、スタッフなどの人材を養成し、世に送りだしてきました。近年では、公務員、健康系企業、スポーツ系企業、報道・出版系企業などへ進む卒業生も多くおり、その分野でも組織を統率する立場に就く者が増えています。体育専門学群にとって、さまざまな分野におけるリーダーを養成することは、長い伝統に基づく使命であり、社会に果たさなければならない責任であると考えています。これからも、使命の達成、責任の遂行に向け、教職員、学生一丸となって努力していく所存です。

また、国内外において、さまざまなスポーツ大会が開催されている中、わが国の競技力向上に寄与することも、体育専門学群の重要なミッションの1つです。筑波大学には伝統ある優れた運動部が多数あり、これまで文武不岐、自主自律、科学的思考などを重視しながら活動に励み、素晴らしい成果を上げてきました。今後とも、これまでの成果に甘んずることなく、さらに強さと品格を併せ持つアスリート、そしてチームを育成し、わが国の競技スポーツの発展に貢献していきたいと思います。

講義、実技、実習、卒業研究、運動部活動、社会貢献活動を通じて、これまでの良き伝統を受け継ぎながら、新たな地平を開拓していく。そのような姿を教職員と学生が共に力を合わせて追求し、体育専門学群の更なる進化を目指していきます。

体育専門学群長 會田 宏



▶ アウトライン

筑波大学体育専門学群では、体育・スポーツ、健康、コーチングに関する最新の科学的研究成果を活かしながら、指導者の養成を目指しています。指導者には優れた運動技能と幅広い運動経験を持ち、かつ、保健体育に関する総合的知識を備えた、指導力と活力に富む豊かな人間性が求められます。そのため、本学群の教育課程では、学生が各種運動の実技と方法論を基礎にしながら、約40ある卒業研究領域の中から特徴的に配列された教育課程を選ぶことができるようになっています。更には大学院との関連も考慮し、その運用には格別の配慮が払われています。

体育専門学群生は、各種運動施設及び実験実習室に恵まれ、整備された環境のもとで学習効果を上げています。各種目別に完備された運動施設は言うまでもなく、運動部活動にも十分活用されています。この運動部の活動は、単に運動技能を高めるだけでなく、社会に生きる人間としての豊かな経験を得る上でも重要な意義を持っています。そして快適で秩序ある学園生活を享受する場ともなっています。

体育専門学群は、昭和52年度から卒業生を世に送り出しています。本学群の卒業生は、中学校・高等学校・大学などの保健体育の教員はもとより、社会体育や地域保健の指導者、スポーツのコーチやトレーナー、レクリエーションのリーダー、報道・出版関係者として活躍しています。さらには企業スポーツ、リハビリテーションの指導者など幅広い分野でも活躍しています。

▶ 教育・研究の組織

昭和48年、新構想大学としてスタートした筑波大学では、他の大学とは異なり、教育組織と研究組織とが独立しており、双方が独自性を保ちつつも互いに連携することによって大学の使命である教育と研究の活性化を図ろうとしています。

学生は、学群・学類と呼ばれる教育組織に所属します。体育の場合、目的を明確にした専門的な教育を早くから行う必要があるため、学類組織をもたない単一の「専門学群」となっています。体育専門学群生は、3年進級時に体育学の3分野（下記参照）に対応した約40の研究領域（p.10卒業研究領域一覧）の中からいずれかを卒業研究領域として選択し、卒業研究をはじめとして、より専門的な学習が進められるようになっています。

また、大学院も令和2年から学位プログラム制に改組・再編され、さらに充実されました。体育に関する分野の前期課程（修士）の学位プログラムとしては、体育学、スポーツウエルネス学、スポーツ・オリンピック学、及びスポーツ国際開発学共同専攻が、後期課程（博士）の学位プログラムとしては、体育科学、スポーツ医学、コーチング学、ヒューマン・ケア科学、パブリックヘルス、スポーツウエルネス学及び大学体育スポーツ高度化共同専攻が設置され、学群卒業後も各自の関心と能力に合わせて学習と研究をさらに深めることができるようになっています。

＜体育学の3分野＞	
体育・スポーツ学	体育・スポーツを主として人文・社会科学的方法（哲学、歴史学、社会学、経営学、心理学など）を用いて教育・研究する分野
健康体力学	スポーツ・運動・健康について、主として自然科学的方法（生理学・解剖学・力学・栄養学・医学など）を用いて教育・研究する分野
コーチング学	スポーツ・運動の種目特性や運動方法および指導方法について教育・研究する分野

▶ 教育課程

体育専門学群においては、様々な体育・スポーツの専門家養成を目指しています。カリキュラムはそのような専門家になるために学習すべき内容を体系化したものです。常に時代の要請に応じ、時代を先取りするカリキュラムづくりにつとめてきました。

体育専門学群の学生が履修する教育課程は、筑波大学の全学生に共通に開設される一般教養の科目「基礎科目」と体育専門学群の教育目的に即して編成する「専門科目」「専門基礎科目」に大別されます。

標準的な履修イメージ

1年	2年	3年	4年
基礎科目			
専門基礎科目		専門科目	
		卒業研究	
教職科目			

専門基礎科目は、体育・スポーツ科学を専門的に学ぶ全ての学生に共通に必要な最低限の基礎的知識・技術を習得する科目群であり、主として1～2年次で履修します。専門科目は、専門基礎科目の学習を基礎としながら、体育・スポーツの専門性をさらに向上させることを目的とした科目群であり、3年次以降に履修します。専門科目は、「キャリア支援科目」「分野別専門科目」「卒業研究領域科目」「実技系科目」の4つの科目群に分けて開設されています。

▶ 授業科目の構成

体育専門学群では、以下に示す豊富な授業科目の中から合計124単位以上を取得することが卒業要件になっています。保健体育科の教員免許状はもちろん、各種体育・スポーツ指導者の資格取得にも対応したカリキュラムになっています。

基礎科目

一般教養の科目

共通科目

総合科目 新入生に対するファーストイヤーセミナー、学問への誘い及び学士基礎科目
外国語 外国語の実用的言語技能を養うことを目的とする科目(体育専門学群では英語を指定)
情報 インターネット社会におけるルール・モラル・スキル・知識を身につける科目
国語 自己の意志を適確に表現し伝達する日本運用能力を養う科目

関連科目

「他学群の開設科目」「教職に関する科目」「博物館に関する科目」「自由科目(特設)」が選択できます。

専門基礎科目

専門科目の履修にあたって基礎となる科目

体育・スポーツ学領域

体育哲学、体育史・スポーツ人類学、武道学Ⅰ、スポーツ社会学、体育・スポーツ経営学、スポーツ政策学Ⅰ、
体育・スポーツ心理学、スポーツ産業学

健康体力学領域

解剖学、生理学、運動生理学、運動生化学、運動とスポーツの栄養学(基礎)、体力学、スポーツバイオメカニクスⅠ、健康増進学、体育測定評価学、スポーツ医学Ⅰ、衛生・公衆衛生学、健康教育学、学校保健学

コーチング学領域

運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、一般コーチング学、一般トレーニング学、個別コーチング学、個別トレーニング学

実技理論・実習

各種運動群から7種目以上を選択、臨海実習、
テーピング・マッサージ、学校体育実技、野外運動(雪上)

専門科目

興味関心・能力適性に応じて選択し、重点的に専門性を高めるための科目

キャリア支援科目

体育・スポーツの職業領域で活用される実践的な知識・技術を修得する科目
保健体育教育論、運動療法論、オリンピック・スタディーズ、体育のカリキュラムマネジメント、コミュニティ・スポーツの経営・政策論、スポーツリスクマネジメント論、スポーツ法学、健康スポーツ政策とサクセスフルエイジング、保健体育指導のための基礎科学、スポーツを通じた開発、体育学探求チュートリアル、スポーツキャリア形成、キャリア形成インターンシップなど

分野別専門科目

体育学を構成する各個別専門諸学の専門知識をさらに専門的・発展的に学習する科目
スポーツ倫理学、スポーツ哲学、現代スポーツ論、メンタルトレーニングの原理と方法、動きの解剖学、スポーツと企業、スポーツ技術論、スポーツ戦術論、身体表現論、運動観察論、パフォーマンスと体力、コンディショニングのスポーツ生化学、アンチ・ドーピング、健康社会学など

卒業研究領域科目

選択した研究領域の最新の知見や研究方法を習得するための演習・実習型科目
卒業研究領域ごとに開設された演習・実習、専門語学、卒業研究

実技系科目

各自の専門とする運動種目の実技能力及び指導力のレベルアップを目的とする科目
種目別コーチング演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、保健体育科指導法



▶ 大学院 人間総合科学学術院

人間総合科学研究群

体育学学位プログラム (博士前期課程)

本学位プログラムは、体育・スポーツ・健康・コーチングなどをキーワードとし、人間の身体と運動、その文化や環境、さらに心身の調整に関わる諸問題に対して学際的に取り組み、世界に類を見ない規模を誇る専門分野・領域を有する教育研究機関を基盤に展開され、自立・自律して研究活動を行うに必要な能力及びその基盤となる豊かな学識を培うことで、グローバル時代のトップランナーたる高度専門職業人を、また諸科学の深化を志向する研究者としての基礎を身につけた人材を養成する。

スポーツ・オリンピック学 学位プログラム (博士前期課程)

これからの国際的スポーツ分野において必要とされる、高いマネジメント能力とスポーツのインテグリティ(高潔さ)を追究することができる人材養成を目的とする。国際オリンピック委員会、また国際競技連盟とも連携して今後求められるスポーツ人材の養成に当たる。

体育科学学位プログラム (博士後期課程)

体育・スポーツ・健康科学分野に関連する現代社会の課題解決への貢献をめざし、卓越した研究・教育活動を行うために必要とされる高度な能力及びその基盤となる豊かな学識や実践力を持ち、グローバルな視点にたってリーダーシップを発揮できる人材を養成する。

教育学学位プログラム (博士前期課程)

人間の営みと社会の発展に対して教育がもつ意義と役割を体系的に理解し、地球的規模の広がりをもつ現代の教育課題を鋭敏に捉え、教育学諸分野の学術的アプローチを用いて分析する基礎的研究能力を有し、多様な教育現場において卓越した専門的知見をもって課題解決をリードすることのできる研究力のある高度専門職業人を養成する。

教育学学位プログラム (博士後期課程)

社会の急激な変化のもに対応を迫られる教育の具体的課題と、地球的視野をもって解決されるべき教育の本質的課題のそれぞれについて、教育学の幅広い学問的知見を基盤としての確かな研究方法をもって追究し、独創的な研究成果を国内外に向けて発信し、政策と実践の改革を国際的に先導することのできる教育学研究者ならびに高度専門職業人を養成することを目的とする。

ヒューマン・ケア科学 学位プログラム (3年制博士課程)

教育学、心理学、福祉学、医学、看護学、保健学、等の専門領域の学問融合の観点から総合的・学際的にヒューマン・ケア、対人支援に関する課題を解明し、創造的に発展させる能力、実践的応用力を備えた大学教員、研究者、高度専門職業人教育者を養成する。

パブリックヘルス 学位プログラム (3年制博士課程)

超少子高齢社会や地球規模で直面する多様な健康問題の解決にむけて、公衆衛生学の専門知識および関連領域の学際横断的知識と研究能力を備えた高度な公衆衛生学専門家を養成する。

スポーツ医学学位プログラム (3年制博士課程)

スポーツ医学に以下の観点から貢献でき、国際的にも通用する研究者や高度専門職業人及びこれらの人材を育てることのできる大学教員を養成する。
・競技スポーツにおいて、科学的な見地から競技者の競技力向上に貢献できる人材。
・生活習慣病や老化の予防を科学的見地から評価し、健康の維持・増進や疾病の予防・改善に貢献できる人材。

コーチング学学位プログラム (3年制博士課程)

国際的な視野と高い倫理観を備え、コーチング領域における高度な研究能力とコーチング実践力を養うことで、コーチング学に関する研究および教育を先導できる研究者、大学教員および高度専門職業人を養成する。

スポーツウエルネス学 学位プログラム (博士前期課程)

自治体、地域、組織、企業、メディア等におけるスポーツ振興やスポーツビジネス、疾病予防・健康づくり施策の牽引者となりうる高度な専門家養成に重点を置き、スポーツとウエルネスの相乗効果を重視しながら、社会の変化・要請に応える人材を養成する。

スポーツウエルネス学 学位プログラム (博士後期課程)

スポーツウエルネスの推進に携わって来た実務経験を基盤として、スポーツとウエルネスの相乗的な推進効果を生み出す理念と方法を理解し、そのための基本政策や戦略を企画・立案・分析する能力、必要な資源を査定しシステム化する能力、高度なシステムを適切にマネジメントする能力、合理的なプログラムを開発する能等を有する実践的な高度専門職業人を養成する。

他大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)

スポーツ・体育・健康に関する理論的・実践的な知識を英語によって学び、国際平和と友好、豊かな地域社会の創造に寄与し、指導的役割を担うことのできる高度専門職業人・研究者を養成する。

大学体育スポーツ高度化共同 専攻(3年制博士課程)

筑波大学と鹿屋体育大学の大学体育スポーツに関する教育研究実績を活かし、大学体育や大学スポーツの充実・発展へ寄与する実践研究と、それに基づく教育実践の循環を促進できる高度専門職業人としての大学教員の養成する。

▶ 入学者選抜

選抜方法	選抜内容
AC(アドミッションセンター)入試	定員8／240名
一次選考 二次選考	本書の教育目標である「国際化」、「未来志向」、「問題解決型人材の養成」に沿った人材である事に加え体育やスポーツに関する自分の実績や可能性を自ら推薦する、いわゆる自己推薦入学制度です。スポーツに関する科学的知識の主体的な活用と論理的思考力、およびそれらに基づいた、ひとつの運動種目における特に優れた技能や卓越した取り組みを多面的に評価する選考を実施します。書類による第一次選考、また第一次選考合格者に対して第二次選考を実施し総合的に判断して最終合格者を決定します。 書類審査 … 入学志願票、志願理由書、高等学校調査書、自己推薦書、運動特技に関する調査書 個別面接・口述試験
推薦入試	定員90／240名
選考	高等学校長の推薦に基づき、大学入学共通テストおよび個別学力検査等を免除して、書類審査、小論文、個別面接及び実技検査により合格者を決定します。各高等学校から体育専門学群に推薦し得る人数は4名が限度となっています。 1 小論文 2 実技検査 … 事前に受験生の得意とする1種目を選択。 体操競技、ダンス、陸上競技、水泳、ハンドボール、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ラグビー、硬式野球、テニス(硬式)、卓球、バドミントン、柔道、剣道、弓道 3 個別面接 4 精密健診(必要に応じて該当者に対して精密健診を行う) 5 書類審査
国際バカロレア特別入試	定員若干名／240名
選考	国際バカロレア資格を取得した方を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標を持って学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して行う入試制度です。書類審査、個別面接・口述試験及び実技検査による選考を実施し総合的に判断して最終合格者を決定します。 1 書類審査…志願表、エントリーシート、成績証明書、運動特技に関する調査書 2 実技検査…事前に受験生の得意とする1種目を下記18種目の中から選択。 体操、器械運動、ダンス、陸上競技、水泳、野外運動、ハンドボール、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ラグビー、野球・ソフトボール、テニス、卓球、バドミントン、柔道、剣道、弓道 3 個別面接・口述試験 4 精密健診(必要に応じて該当者に対して精密健診を行う)
外国学校経験者特別入試	定員12／240名
選考	志願者の国籍を問わず、外国の教育制度のもとで一定期間以上教育を受けた者を対象に実施する入試制度です。私費外国人留学生等を対象とする第1種・帰国生徒等を対象とする第2種に分かれます。小論文、面接、実技検査による選抜を実施し総合的に判断して最終合格者を決定します。4月に入学したのちは、他の入試制度を受験した者と同じ教育課程で学び、日本語で学位を取得します。 1 小論文 2 実技検査…事前に受験生の得意とする1種目を国際バカロレア特別入試と同じ18種目の中から選択。 3 個別面接 4 精密健診(必要に応じて該当者に対して精密健診を行う)
個別学力検査等 - 前期日程	定員130／240名
	個別学力検査は前期日程のみ行います。まず、大学入学共通テストの結果に基づいて、定員の約3倍相当の人数を第1段階合格者としします。さらに、この第1段階合格者に対し個別学力検査等を課して、その結果(740点)と、大学入学共通テストの結果(740点)を合計し、総合的に判断して最終合格者を決定します。 大学入学共通テスト 計740点 1 国語 200 2 地理歴史・公民…地総・地探、歴総・日探、歴総・世探、地総／歴総／公共、公共・倫、公共・政経から1科目 100 3 数学…数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B・数Cから1科目 100 4 理科…物基／化基／生基／地基、物理、化学、生物、地学から1科目 100 5 外国語…英(リスニングテストを含む)、独、仏、中、韓から1科目 200 6 情報 40 個別学力検査等 計740点 1 実技検査…国際バカロレア特別入試と同じ18種目の中から、事前に志願者が最も得意とする1種目と、その次に得意な種目1種目、合計2種目(640)を選択。同じ種目を2度選択することはできません。 2 保健体育理論に関する論述試験 100 3 精密健診(必要に応じて該当者に対して精密健診を行う)

▶ 体育専門学群卒業研究題目一覧

2025年度

分野(領域)	論文題目
体育・スポーツ学	1920-1930年代の我が国における『日本式クロール』の形成に関する歴史的研究
	運動部活動における立場の違いに見る言葉の受け止めの差の自覚-「アスペクト論」と「差別論」の接合から-
	女性アスリートのライフイベントと競技継続に関する研究-出産を経験した女子サッカー選手の事例をもとに-
健康体力学	タグラグビーの授業教材カタログ作成の試み～小学校3年生の授業単元の実践～
	暑熱下高強度走運動に伴う胃腸機能低下に対する高酸素吸入の効果
	5分間の一過性重度低酸素ガス吸入が心臓迷走神経活動及び気分に与える影響
	膝関節部伸展柔軟性と下肢後面組織の硬さとの関係～大学アスリートにおける過伸展の影響因子～
コーチング学	筑波大学体育専門学群の学生を対象とした呼吸機能と呼吸症状の評価におけるDyspnea Indexの有用性
	大学陸上短距離選手における大腿二頭筋長頭肉離れ既往と筋形態および胸腰筋膜スティフネスの関連
	リリースにおける手指の球速・球質への寄与
	重球および軽球打撃がその後の通常球打撃の打球速度およびスイング動作に及ぼす即時的影響
	バスケットボールにおけるレイアップシュートの指導に関する発生運動学的研究-中級者を対象として-
	呼気終末息止めを伴う間欠的高強度水泳運動時の生理応答
	ノルウェーのハンドボールにおける状況判断能力の育成方針に関する基礎的研究
	ラインアウトにおける非有効ボールの発生要因と修正行動に関する実証的研究

2024年度

分野(領域)	論文題目
体育・スポーツ学	アスリートにおけるトレーニング期と試合期の睡眠状態の差異と睡眠に関連する要因 -Ecological Momentary Assessment による検討-
	国民体育大会における国籍条項撤廃に関する歴史的研究～1970年から2006年までの経緯に着目して～
	高等学校体育における弓道授業の実態～導入に向けての課題とその解決策～
	矯正施設退所後の支援やプログラムにおける余暇支援やスポーツを活用した余暇支援のニーズの実態調査
健康体力学	大学女子投擲選手の練習日におけるエネルギー消費量と栄養素等摂取状況の実態調査
	軽運動は脳内意欲中枢・側坐核を刺激するか: ファイバーフォトメトリーを用いた検討
	ランナーの上り坂走パフォーマンスを決定する生理学的要因
	地域在住高齢者における椅子立ち上がり時の地面反力計パラメータに基づく要支援・要介護発生予測指標としての可能性
コーチング学	大学野球選手の利き腕における微小循環動態: ポジション別の比較検討
	パフォーマンスプロファイリング活動が大学女子ハンドボールチームの集団凝集性及び集会的効力感にもたらす影響
	各種ジャンプ、腿上げおよびスプリントにおける腕振りの影響
	ソフトジムを用いることは座位姿勢の固定化を防げるのか
	新たな学校水泳授業の実態調査および児童・生徒の学習ニーズ調査に基づく水泳授業の在り方についての考察
	ラグビーにおけるバックス選手のポジション別プレー様相の変様
	ラグビーワールドカップ2015年から2023年大会を比較して
	高等学校の創作ダンス授業における教員の発言と学習者の学習意欲の関係-単元の導入部分に着目して-



2023年度

分野(領域)	論文題目
体育・スポーツ学	アスリートのメンタルヘルスに関する知識・態度の差異が生じる要因の調査および態度変容を促す方法の検討
	パラアスリートの障害／健常間の自己受容における意識変容について一死と再生の二重モデルに依拠して一
	バドミントン模擬授業におけるルーブリックの作成とその効果
	大学生アスリートの日常と多様性 体育会系の枠から脱する大学生アスリートたち
健康体力学	スポーツが居場所作りにもたらす影響について 在留外国人スポーツ組織を対象として
	女子バドミントン選手におけるスプリットステップの有効性
	ヒトの一過性低強度ランニングが記憶固定化に与える影響:脳内覚醒機構に着目して
	学生競泳選手における体組成と競技パフォーマンスの関係について
コーチング学	身体活動量が高齢者の睡眠の質に与える影響一抑うつと社会的交流の多重媒介効果に着目して一
	TRPA1が暑熱下運動時の皮膚血管拡張反応に及ぼす影響
	高強度泳中のスイミングエコノミーと100m, 200m自由形レース強度下におけるストロークパラメータの関係
	サッカー選手における後方に走りながらのジャンプヘディング
	大学生ダンサーのダンス創作活動における心的外傷後成長に関する研究
	一大会に向かう大学生ダンサー・アスリートを対象にして一
	剣道の攻防場面における反応戦略と競技力の関係
	長距離走における走動作改善に関する動感発生分析
	地蹴り現象の解消をねらいとした運動プログラムの考案

2022年度

分野(領域)	論文題目
体育・スポーツ学	不登校児童生徒の能動的運動参加に関わる要因の検討
	一個別指導場面と一斉指導場面による比較とエスノグラフィーによる記述から一
	競技スポーツにおける集団・チームの多様な心理的特徴を評価する心理検査の開発
	留学生を交えた体育の模擬授業での日本人学生の学習経験 一外国人児童生徒への指導の視点に着目して一
	現代サッカーにおける審判員の存在意義 一判定補助テク/ロジ一との関係に着目して一
健康体力学	デジタル技術におけるスポーツの変容に関する研究
	トレッドミルでのランニングは屋外でのランニングを正確に再現しているのか?
	砲丸投競技者の上肢及び上部体幹の筋形態体特性
	大学野球投手におけるピッチング後のアイシングが血管内皮機能に及ぼす影響
	脳グリコーゲンの慢性的枯渇が運動時のエネルギー代謝に及ぼす影響:脳グリコーゲン合成酵素欠失モデルを用いて
コーチング学	生体電気インピーダンス法により得られた測定値とサルコペニアとの関連 一ニュートラルネットワークを用いた検討一
	サッカーのインステップキックにおける支持脚の特徴 ～シュートとロングキックの比較～
	大学剣道選手における視機能に関する研究
	野球における送球イップスに関する運動学的研究
	世界トップレベルの女子ハンドボール競技におけるセットアタックで用いられる有効なドリブルプレー
	筑波大学ラグビー部における2019-2022シーズンのラインアウト防御パフォーマンスの変遷とその要因の検証



▶ 2026年度 卒業研究領域別指導教員名一覧

領域名	領域代表教員	所属指導教員
体育・スポーツ学		
体育・スポーツ哲学	深澤 浩洋	坂本 拓弥
体育史・スポーツ人類学	大林 太郎	田 暁潔
スポーツ社会学	下竹 亮志	
武道学	酒井 利信	大石 純子
体育・スポーツ経営学	姜 泰安	醍醐 笑部
スポーツ政策学	齋藤 健司	成瀬 和弥
スポーツ産業学	仲澤 眞	嵯峨 寿
体育科教育学	長谷川悦示	佐藤 貴弘, 宮崎 明世
アダプテッド体育・スポーツ学	齊藤まゆみ	澤江 幸則, 永田 真一
体育心理学	國部 雅大	雨宮 怜
健康体力学		
健康教育学	片岡 千恵	久野 譜也, 門間 貴史
運動生理学	武政 徹	藤井 直人
運動生化学	松井 崇	岡本 正洋
運動栄養学	麻見 直美	下山 寛之
スポーツバイオメカニクス	小池 関也	藤井 範久, 佐渡 夏紀
応用解剖学	平田 浩祐	
体力学	小野 誠司	鍋倉 賢治, 木塚 朝博, 榎本 靖士
健康増進学	大藏 倫博	辻 大士
体育測定評価学	角田 憲治	
内科系スポーツ医学	渡部 厚一	中田 由夫, 柴田 愛, 小崎 恵生
外科系スポーツ医学	高橋 英幸	竹村 雅裕, 福田 崇, 井汲 彰, 眞下 苑子
コーチング学		
コーチング論・トレーニング学	前村 公彦	木内 敦詞, 松元 剛, 河合 季信, 谷川 聡, 松尾 博一, 中山 紗織
スポーツ運動学	中村 剛	新竹 優子
体操コーチング論	本谷 聡	
体操競技コーチング論	齋藤 卓	渡辺 良夫, 金谷 麻理子
陸上競技コーチング論	大山 圭悟	木越 清信
水泳競技コーチング論	仙石 泰雄	高木 英樹, 角川 隆明
バレーボールコーチング論	中西 康己	秋山 央
バスケットボールコーチング論	仲澤 翔大	
ハンドボールコーチング論	藤本 元	會田 宏, 山田 永子
サッカーコーチング論	中山 雅雄	小井土 正亮, 安藤 梢, 平嶋 裕輔
ラグビーコーチング論	古川 拓生	嶋崎 達也
ラケットバッドスポーツコーチング論	川村 卓	三橋 大輔, 安藤 真太郎, 吹田 真士, 奈良 隆章, 野中 由紀
柔道コーチング論	岡田 弘隆	山口 香, 増地 克之, 平岡 拓晃
剣道コーチング論	有田 祐二	鍋山 隆弘
弓道コーチング論	松尾 牧則	
野外運動論	渡邊 仁	坂本 昭裕, 佐藤 冬果
舞踊論	寺山 由美	平山 素子

教職担当: 三田部 勇

●2025年度卒業生の進路の内訳と主な就職先

進学 48名(19%) 筑波大学大学院博士前期課程 他

企業 139名(54%) スズキ、NIKKEN TOTAL SOURCING、SalesMarker、日立製作所、Gyou、レバレジーズ、ソフトバンク、アズパートナーズ、パーク24、ネオキャリア、マイベスト、東京地下鉄、日立製作所、博報堂、百五銀行、レイス、ペイカレント・コンサルティング、アサヒビール、鹿島建設、オースビー、広島ガス、キーエンス、三井住友銀行、ポート、三菱UFJ銀行、日本電気、バンダイ、日本ハム、ドーム、フロンティアインターナショナル、三井住友海上火災保険、群馬ダイヤモンドベガサス、東芝プレイブルーバス東京、ファーストリテイリング、野村貿易、茨城口ボツツ・スポーツエンターテインメント、楽天グループ、大和証券、オープンハウスグループ、サントリーホールディングス、ジョンソン・エンド・ジョンソン、日本製鉄、ホルドウル、オービックス、明電舎、九州電力、リンナイ、イシಂಗロ、伊予銀行、関彰商事、クラシオン、兼松、ハウス食品、東京海上日動火災保険、トレノケート、出光興産、イズミ、ニプロ、三菱地所プロバティマネジメント、ジャパンエレベーターサービスホールディングス、ソリュション・アンド・テクノロジ、豊田合成、キャノンマーケティングジャパン、SHIFT、東京パワーテック/ロジ、クリタウオーターガッツシ昭島、キーエンス、富士ソフト、日野自動車、ティップ、茨城県農業協同組合中央会、御堂筋税理士法人、J&T環境、三菱鉛筆、富士通Japan、筑波銀行、NTT東日本、全日本空輸、KDDI、クラフティア、東北電力、ツクイ、パルススポーツクラブ、NTT西日本、九州電力、名古屋グランパスエイト、明治安田生命保険、キャリタス、HRクラウド、大林組、阪神タイガース、びあ、パナソニックブルーベルズ、安川電機、岡山湯郷Belle、セントラルスポーツ、テレビ新潟放送網、三井住友海上プライマリー生命保険、日本製紙、ソニー生命保険、埼玉パナソニックワイルドナイツ、第一三共、ミツウロコグリーンエネルギー、オープンワーク、オリエンタルランド、ACN経営研究所、川崎汽船、フロンティアインターナショナル、三井不動産リアルティ、松田建設工業、楽天グループ、ジェイエイシーリクルートメント、横浜マリノス、国際協力機構(JICA)、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、ガモウ、オープンハウス・アーキテクト、ファイアアローズ、ソフトバンク、キリンホールディングス、新潟プロ野球団、花王、豊通メタルソリューションズ、マーケットエンタープライズ、橋本総業、日本総合研究所、三菱重工パワーメンテナンスサービス、埼玉武蔵ヒートベアーズ、熊本ビューストビンディーズ、大分フットボールクラブ、エスネットワークス 他

教員 16名(6%) 公立学校、私立学校

公務員 9名(4%) 京都府警察本部、神奈川県警察本部、厚生労働省、青森県庁、新潟都庁、長野県庁、関市役所

●2024年度卒業生の進路の内訳と主な就職先

進学 63名(25%) 筑波大学大学院博士前期課程 他

企業 163名(64%) ANAウイングス、ENEOSシステムズ、free、IFA法人MK3、JA全農ミートフーズ、J-POWERジェネレーションサービス、MMCテクニカルサービス、RB大宮、Sansan、Shun Kuwahara Gymnastics Square、TOTO、アイリスオーヤマ、アラハタ、いすゞ自動車、エン・ジャパン、オーウィル、オリックス・システム、キリンホールディングス、グリーンテニスプラザ、コダマコーポレーション、ジュークスター東京、ジェフユナイテッド、シスメックス、シャープ、ジュビロ磐田、シンプレクス・ホールディングス、センコー、トヨタ車体、トヨタ紡織九州、ニッセイ情報テクノロジ、パナソニック、ファミリーコーポレーション、プラス、ベースボール&スポーツクリニック、ユニ・チャーム、ルイ・ヴィトン ジャパン、レバレジーズ、グリーンウイングスGUNMA、別府大学、オムロンピンディーズ、オリエンタルランド、カターレ富山、汎建製作所、GA technologies、KADODE、LAVA International、LEOC、LIFULL、LIXIL、NTTドコモ、TOKIUM、アサイン、アスリートクラブ熊本 ロアッソ熊本、イズミ、イングリウッド、ヴェルスバ、エフアンドエム、オープンハウスグループ、グッドライフOS、クボタ、コスモスイニシア、サイバーエージェント、ザナックス、ジェイエイシーリクルートメント、ジェイテクト、ジャパンエフエムネットワーク、スポーツクラブ相模原、セブテーニ・ホールディングス、テンボス情報館、ニトリホールディングス、バンダイナムコライブクリエイティブ、バンビバス奈良、三遠オフェニックス、フジミンコーポレートッド、フットボールクラブ水戸ホーリーホック、ペイカレント・コンサルティング、モリモト、ラキール、ルックホールディングス、ルネサンス、レイヤーズ・コンサルティング、ロッテ、久島農産、群馬銀行、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、山形銀行、世田谷自然食品、西京銀行、青木商店、大韓航空、大林組、筑波銀行、長谷工コーポレーション、東京エレクトロン東北、栃木ブレックス、南日本新聞社、南日本放送、日立製作所、福岡銀行、報知新聞社、関彰商事、共同エンジニアリング、新潟県スポーツ協会、三井住友トラスト・グループ、三井住友海上火災保険、三菱電機、山陽特殊製鋼、住友林業、清水建設、積水ハウスリフォーム、双日、村地総合木材、大塚製薬、大和ハウス工業、大和証券、中国電力、東レ、東海テレビ放送、東海旅客鉄道、東京海上日動火災保険、日本ガイシ、日本ハム惣菜、日本ライフライン、日本航空、日本製鉄、日本中央競馬会、日本電気、日本道路、日本発条、日野自動車、日立ハイテックカーゴ、美津濃、富士通、味の素、明治安田生命保険、野村證券、由良海運 他

教員 7名(3%) 公立学校、私立学校

公務員 15名(6%) 警視庁、大阪府警察本部、和歌山県警察本部、埼玉県警察本部、福岡県警察本部、茨城県庁、東京都庁、徳島県庁、世田谷区役所、小野市役所、牛久市役所、宇都宮市役所

●2023年度卒業生の進路の内訳と主な就職先

進学 55名(22%) 筑波大学大学院博士前期課程 他

企業 156名(62%) AGRI CARE、DYM、F.C.大阪、GA technologies、JTマーヴェラス、NECレッドロケッツ、NTTテレコムエンジニアリング、NTT東日本、RIZAPグループ、SBC東京医療大学、SocioFuture、Team SSP、TOTO、アークアスリート、アイエスエフネット、アクトス、アランマレー秋田、ウィル、エッグフォワード、エディオン、エン・ジャパン、オイシックス新潟アルビレックスBC、オーエンス、オムロンピンディーズ、オリエンタルランド、カターレ富山、キーエンス、キャノン、クボタ、ゲンキー、ゴールドウイン、コスモスイニシア、コカミルタ、コベルコ建機日本、サイバーエージェント、サッポロビール、サンフロンティア不動産、ジーニー、ジールコミュニケーションズ、システムステーション、ジャックス、セコム、セブテーニ・ホールディングス、セレスポ、ゼロイン、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、ブルーサクヤ、ダイキン工業、テイクアンドギヴ・ニーズ、データX、テレビ東京、トナミ運輸、ニココ、パナソニック、ビジナール、ひらまつ病院、フージャースコーポレーション、プラストリーホールディングス、ブルボク、プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン合同会社(P&G)、フロンティア・マネジメント、ペイカレント・コンサルティング、ホンダ泉州販売、ミツウロコグリーンエネルギー、ヤクルト、ユニクロ、リコー、リンナイ、ルートインジャパン、レイス、レノナック、伊藤忠商事、医療法人鉄蕉会 亀田総合病院、茨城日産自動車、浦安D-Rocks、横浜ビー・コルセアーズ、岡三リビックス、岡谷鋼機、海宝、楽天ウィッセル神戸、京和住設、共立印刷、兼松、広島ドラゴンフライズ、再春館製薬所、篇宮製作所、三井住友銀行、三菱ケミカル、三菱商事、山本光学、山梨中央銀行、寺内弓具店、自営業、社会福祉法人小百合愛児園、若築建設、住友不動産販売、小松製作所、新潟アルビレックスBBラビッツ、森田ラスト、森永製菓、星野リゾート・マネジメント、全日本空輸、双日、倉敷アブレイス、太陽工業、大日精工工業、中部電力、長崎ヴェルレ、長谷工コーポレーション、長野アンビシャススポーツクラブ、帝人、電通、東レ、東京ガス、東日本旅客鉄道、日本M&Aセンター、日本航空、日本生命保険、日本電気、日本放送協会、日本郵船、日立ハイテックカーゴ、日立製作所、俳優座劇場、福井ユナイテッド、福岡銀行、豊田合成、本田技研工業、味の素、明治安田生命保険、野村不動産、野村證券、流山FC、琉球銀行、遷彦省女子バレーボールチーム 他

教員 18名(7%) 公立学校、私立学校

公務員 9名(4%) 陸上自衛隊、警視庁、兵庫県警察本部、福岡県警察本部、茨城県庁、川越市役所、名古屋大学

●2022年度卒業生の進路の内訳と主な就職先

進学 56名(23%) 筑波大学大学院博士前期課程 他

企業 130名(54%) ANAウイングス、AnyMind Japan、AOI Pro.、Budaifarkasok、DE-SIGNグループ、DYM、EMシステムズ、HC名古屋、Helvetia Anaitasuna、JTB、LayerX、NECキャピタルソリューション、NOK、SMBC日興証券、WonderSpace、アイエイアイ、アドレ、アルビレックス新潟、ヴィクトリーナ姫路、ウィル、エクシング、エディオン、エル・ティール、エス、エン・ジャパン、カープスジャパン、キーエンス、キュービー、クイック、クラウン、パッケージ・ケアこげら、コスモス薬品、シグマックス、ジャクエツグループ、すかいらく、セブテーニ・ホールディングス、ソフトバンク、ディスコ、デンソー、トイウェアトヨタホーム、トヨタ自動車、パナソニック、パナソニック・インターナショナル、プレス浜松、プロジェクトカンパニー、ペイカレント・コンサルティング、ベルガロツツィいわみ、ヤフー、ヤマハ発動機、ヨネックス、ライオン、リーパー、リクルート、リクルートホールディングス、リスト、リンクアカデミー、旭化成、一条工務店、茨城口ボツツ・スポーツエンターテインメント、因幡電機産業、羽田ウィッキーズ女子バスケットボールクラブ、奥村組、関彰商事、丸紅、京阪ホールディングス、劇団四季、合同会社ミトアス、黒崎播磨、佐賀県スポーツ協会、阪和興業、三井住友海上火災保険、山から、山梨クイーンビーズ、七七銀行、昭和電工マテリアルズ、清水建設、西武管商、積水化学工業、全日空商事、損害保険ジャパン日本興亜、大塚製薬工場、大和証券、竹中工務店、長谷工コーポレーション、島根サノオマジック、東海テレビ放送、東京海上日動火災保険、徳島ヴォルティス、日本ハム、日本航空、日本住宅、日本放送協会、日立Astemoリヴァーレ、日立システムズエンジニアリングサービス、日立ハイテク、日立製作所、富士観光開発、富士山の銘水、福岡放送、北関東総合警備保障、本田技研工業、野村證券、琉球フットボールクラブ 他

教員 7名(3%) 公立学校、私立学校

公務員 13名(5%) 北海道警察本部、警視庁、神奈川県警察本部、石川県警察本部、愛知県警察本部、兵庫県警察本部、東京消防庁、静岡県庁、川越市役所、新居浜市役所、福岡市役所

●2021年度卒業生の進路の内訳と主な就職先

進学 67名(28%) 筑波大学大学院博士前期課程 他

企業 137名(54%) AOI TYO Holdings、biima、Cocoda Japan、D2C、DYM、ENEOS、F.C.大阪、PFU本社、RIZAP、T.I.彩たま、TAC、THECOO、TIS、TOTO、WAKUWAKU、アサヒ飲料、アチーブメント、アドレ、アルビレックス新潟シンガポール、イオンリテール、イズミ、いなほ食品、イノベーションマネジメント、エコ・プラン、エン・ジャパン、エンジンフィルム、オープンハウス、オールフロンティア、カープスジャパン、キーエンス、キックマンソフーズ、クイック、グローバルビジネスソリューション、コンサドーレ札幌、ジェイアール東海情報システム、ジェフユナイテッド、シティ・コム、清水エスパルス、ジャパネットホールディングス、ステップ、セコム、セブテーニ・ホールディングス、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング、ソフトバンク、タカラスタンダード、つくばユナイテッドサンガイア、テイクアンドギヴ・ニーズ、テルモ、トヨタ自動車東日本、ネッツトヨタ名古屋、パナソニック、ビズリーチ、ブイ・テクノロジ、フェニックス、フューチャーリンクネットワーク、プレステージ・インターナショナル、ペイカレント・コンサルティング、ミキハウス、ミズノテクニクス、みずほ証券、ヤマダ電機、ラウンドワン、リクルート、リンクアンドモチベーション、レイス、レバレジーズ、ローム、ワンキャリア、伊藤忠丸紅住商テクノスチール、伊藤忠食品、羽田ウィッキーズ女子バスケットボールクラブ、横河ブリッジホールディングス、横浜マリノス、王子製紙、岡谷鋼機、花王、関彰商事、丸紅セーフネット、阪急阪神交通社ホールディングス、阪和興業東京本社、三井住友カード、三井住友銀行、三井物産、三谷産業、三菱UFJ銀行、鹿島建設、常磐植物化学研究所、神戸製鋼所(グループ)、神戸本社西武ライオンズ、千葉ジェッツ、川崎フロンターレ、大成建設、大塚刷毛製造、大和ハウス工業、大和証券、電通、東日本旅客鉄道(JR東日本)、日清医療食品、日本たばこ産業、日本ハウスホールディングス、日本ハム、日本ハムマーケティング、日本ハンドボールリーグ機構、日本ユニシス、日本交通、日本電気、日立Astemo、日立サンロッカーズ、柏レイソル、八十二銀行、豊田合成、豊田通商、本田技研工業、明治安田生命、野村證券、了徳寺大学 他

教員 11名(5%) 公立学校、私立学校、国立大学附属学校 他

公務員 10名(4%) 山形県警察本部、つくば市役所、高崎市役所、神奈川県警察本部、静岡県庁、愛知県警察本部、岐阜県警察本部、和歌山県庁 他

▶ Q&A

Q 一般教養的な学習はどのようにできるのですか？

本学の授業は、教養課程と専門課程という段階的な区分を設けずに行われています。その代わりに、一般教育的な科目と専門教育的な科目を有機的に統合し、4年間（医学類は6年間）を通じての履修によって大学教育本来の目的が達成されるように計画されています。

他大学の一般教養科目に相当するのは、本学では専門導入科目及び総合科目になります。2026年度は学期完結型の科目を中心に、多分野に渡り約160科目が開設されています。

Q 学群で開設している授業の詳細は？

全ての開設科目は、毎年作成される「開設授業科目一覧」にまとめられています。そこではそれぞれの授業の概要等について記載されています。また、更に詳しい内容については授業計画、内容等を記載したシラバスを毎年公表しています。これらはすべてインターネットで閲覧できます。

Q 教職課程や教育実習について詳しく知りたいのですが？

本学では教員免許状取得の所要資格を得るための課程として教職課程を設けています。この課程は卒業に必要な授業科目と並行して履修することになります。本学の教育実習は、附属学校または茨城県内の協力校等で実施することが原則ですが、事情によっては母校で実施することも可能です。

Q 取得できる免許や資格はどのようなものですか？

本学群で取得できる資格は、まず中学及び高校の教員免許（保健体育）です。2025年度は149名が教員免許を取得することができました。同時に特別支援（2～5領域）の取得も可能です。また、（財）日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナーの資格取得に必要な、養成講習会の受講免除等が適用されます。

その他には、社会教育関係の単位を多少加えて取ることで、社会教育主事となるための基礎資格などを取得できます。

Q 運動部活動は授業に支障を来さないでしょうか？

運動部活動は基本的には課外活動ですが、体育専門学群の場合には授業と相互に連動して成果を上げられるように配慮されていますので、両方とも積極的に取り組むことができます。





Q

留学制度はありますか？

筑波大学では、69カ国・地域及び国際連合大学と学生交流に関する合計399協定(2026.5.12現在)を締結しています。この協定に基づき、本学から相手大学等に学生を派遣するものが、交換留学です。協定校への交換留学には、次のようなメリットがあります。1.筑波大学及び独立行政法人日本学生支援機構が実施する奨学金制度に申請できます。2.授業料相互不徴収に関する協定を締結している指定校にあっては、相手大学での授業料が免除されます。

Q

学生宿舎の生活はどんな感じですか？ また下宿案内はありますか？

学生に良好な勉学の環境を提供し、自律的な市民生活を体験させることを目的として学生宿舎を設置しています。学生宿舎は一の矢地区、平砂地区、追越地区及び春日地区に計65棟設置され、約3517室の部屋があります。宿舎の各居室にはベッド、机、洗面台などが備え付けられ、生活に必要な身の回り品などを揃えれば生活できます。

宿舎各棟には洗濯室、補食室、シャワー室なども併設され、各地区(春日地区を除く。)の学生宿舎共用棟には、管理事務室(春日地区は1号棟1階)・理容室(一の矢・平砂)・電気店があり、その他に平砂共用棟に共同浴場があります。

学群の新入生は優先的に入居できるように配慮されています。

なお、キャンパスの国際化推進のため、2017年4月から国際交流を重視したシェアハウスタイプの学生宿舎(グローバルヴィレッジ)が運用開始されました。

その他、間取図などの詳細情報は、大学HPに宿舎案内が掲載されています。

また、大学の周辺には多くのアパートがあります。大学から物件を直接斡旋することはありませんが、徒歩圏内にはたくさんの不動産仲介会社がありますので、希望条件(家賃、間取り等)をきちんと伝えることで、自分に合った物件を探すことができます。

Q

サークルはたくさんあるのですか？

本学には多くのサークルがあり、種目もレベル也多岐にわたっていますので、各自の希望にあったサークルを選択することが可能です。体育系以外にも、文化系や芸術系のサークルが多数あります。

Q

主な就職先、職種について教えてください。

入学時には大半の学生が卒業後の進路として教職を希望しています。最近では児童生徒の減少に伴い、教職員の採用を手控える自治体が多くなり、本学群卒業生の教職員への就職は年々減少傾向にあります。

またトレーナーを希望する人が多いのですが、トレーナーという職種は現在我が国では必ずしも確立されておらず、職業として従事できる可能性はあまりありません。これまでにトレーナーになった人は、アスレチックトレーナーの資格を取ることに加えて、卒業後に鍼灸師や柔道整復師などの資格を取得しています。

一方、民間企業においては体育専門学群学生の人気は高く、かなり広範な職種に就職し活躍している人が増加しています。そのための就職活動は3年生の後半から始まりますが、大学が提供しているサポートシステムを積極的に活用することが成功の鍵となります。

体育総合実験棟 SPEC

スポーツの知 ―― それはアスリートにとって必要なものです。心・技・体の調和をはかり、アスリートの競技力向上や、スポーツパーソンのスポーツライフをサポートするための施設、それが体育総合実験棟SPEC (Sport Performance and Clinic Lab.) です。

スポーツを科学的にとらえ、最新の設備と情報を用いて精度の高い実践的な研究を進めるとともに、アスリートに対して積極的に施設を開放することによって研究と現場を結びつける重要な役割を果たします。

また、SPECは、1 競技力向上への貢献(アスリートへのサポート)、2 地方公共団体・他研究機関との連携、3 スポーツ医科学の知と技を持った実践家(トレーナー、コーチ、スポーツカウンセラー等)の養成、4 スポーツ関連情報の発信(公開講座、セミナー等)という4つの理念のもとに活動しています。独立した4つの理念がSPECを通じて融合し、アスリートを総合的にサポートする理想的な環境を実現します。

SPECは国内最高水準の研究と実践の場として、常にスポーツ医科学分野のパイオニア的存在でありたいと思っています。アスリートのサポートを通じて、スポーツ医科学の知と技を持った人材の育成にも力をいれ、ハード面のみならず、ソフト面での充実を図ります。

人はスポーツを通じて喜びや感動を得ることができます。すばらしいスポーツ文化の一端を担えるよう、SPECは日々努力していきます。

1階 多目的実験ゾーン

多目的実験ゾーンと呼ばれるこのフロアは、各種のスポーツ動作を主としてバイオメカニクスの手法により分析し、一流選手や熟練者の技術と比較したり、アスリートの技術や指導法などに関するアイデアを検証したりするための空間です。

体育館のような多目的実験室では、各種スポーツ動作のバイオメカニクスの分析(VICONによる3次元動作分析、地面反力の測定、高速度VTRによる撮影、筋電図測定など)を行うことができます。動作解析室では撮影したVTRを分析したり、より高度な計算を行うことができます。

また、このゾーンでは、バイオメカニクスやコーチ学に関する知と技を持ったスポーツコーチの育成を行います。1階入口ホールには、野外活動実習用のクライミングウォールもあります。

2階 リハビリ・トレーニング実験ゾーン

リハビリ・トレーニング実験ゾーンと呼ばれるこのフロアは、様々なスポーツ傷害のアスレティックリハビリテーションや競技力向上を目的としたトレーニングを行います。

早期で安全な競技復帰はアスリートにとって重要な課題です。ドクターとアスレティックトレーナーの連携のもと、アスリートの円滑な競技復帰をサポートします。

また、このゾーンでは、スポーツ医学や体力学に関する知と技を持ち、スポーツのメディカルサイドで必要とされるアスレティックトレーナーの育成を行います。

3階 体育系共通ゾーン

体育系共通ゾーンと呼ばれるこのフロアには、アスリートの心の問題や栄養の問題に対応するための相談室などがあります。前者では、箱庭療法、風景構成法などの表現療法やメンタルトレーニングなどを体験することができます。

また、このゾーンでは、心理学や栄養学に関する知と技を持ったカウンセラーの育成を行います。フロアには、体育、スポーツ健康科学に関する様々な研究を推進するためのプロジェクト研究室や、セミナールームもあります。

グローバルスポーツイノベーション棟:GSI棟

本学体育系では、複数の大型プロジェクトを展開すると共に、更に新たな事業計画の立案、推進を行っています。GSI棟は、これらをより円滑に、かつ効果的に推進するための教育研究施設です。我が国随一の体育・スポーツ分野の国際連携拠点の構築を目指しています。また、2023年4月に設立された体育スポーツ局の拠点にもなっています。



国際性の日常化への取り組み

国際性を高めることをねらいとして、体育専門学群生および留学生の交流や国際的活動に関する情報交換、体育専門学群生の英語力向上に向けた個人またはグループによる学習機会を設けています。



